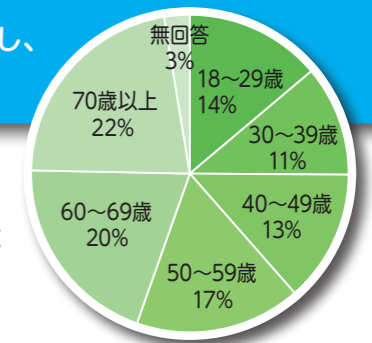


まちづくりに関する町民アンケートの集計結果をお知らせします

町では、毎年3月に18歳以上の町民から600人を無作為に抽出して「まちづくりに関するアンケート調査」を実施しています。

毎年、集計概要や寄せられた意見などを紹介していましたが、今回は新たに人口問題についての設問を設けましたので、その結果についてお知らせします。

なお、皆さんから寄せられた貴重なご意見は、今後の施策展開に生かし、より良い行政運営に努めていきます。



《調査概要》

・回収結果

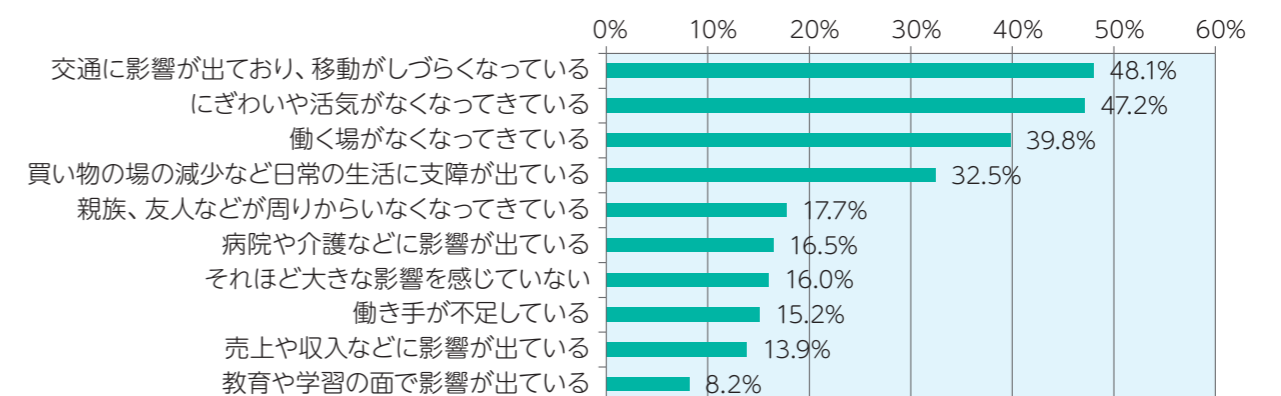
配付数：600
回収数：231
回収率：38.5%

・回答者の性別

男性：46%
女性：48%
無回答：6%

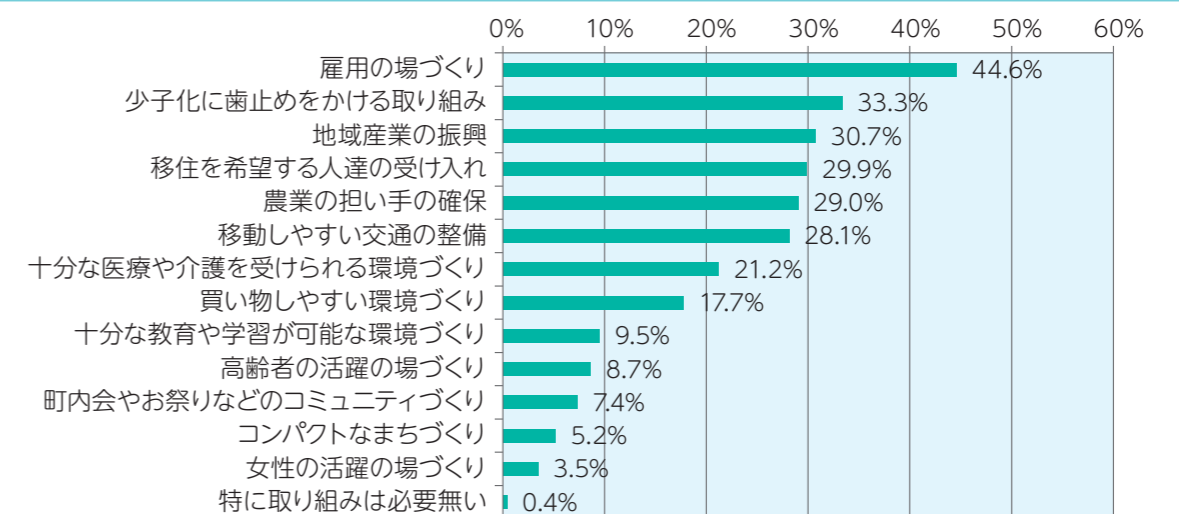
・回答者の年齢構成

問1 人口減少や少子高齢化といった人口問題が、地域に与えている影響についてどのように思いますか？（当てはまる全てを選択）



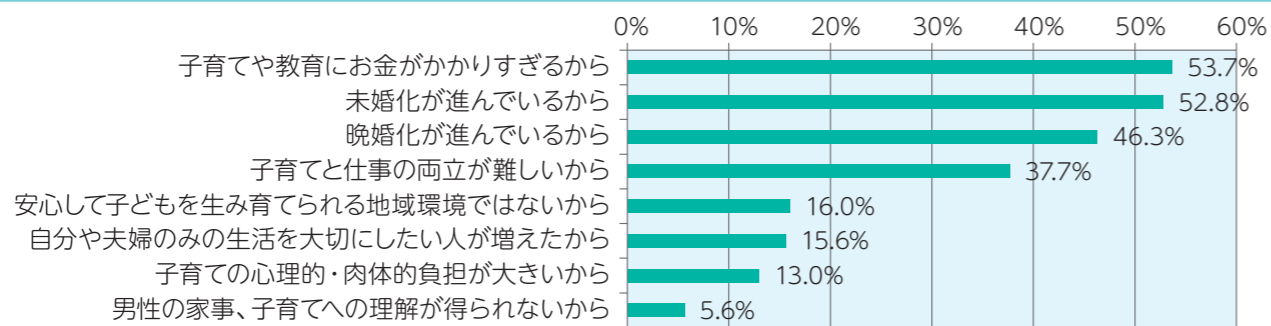
「交通に影響、移動しづらい」と回答した人が48.1%と最も多く、次いで47.2%の人が「にぎわい活気がなくなっている」と回答しています。

問2 人口問題に対応するために必要な取り組みは何だと思いますか？（3つまで選択）



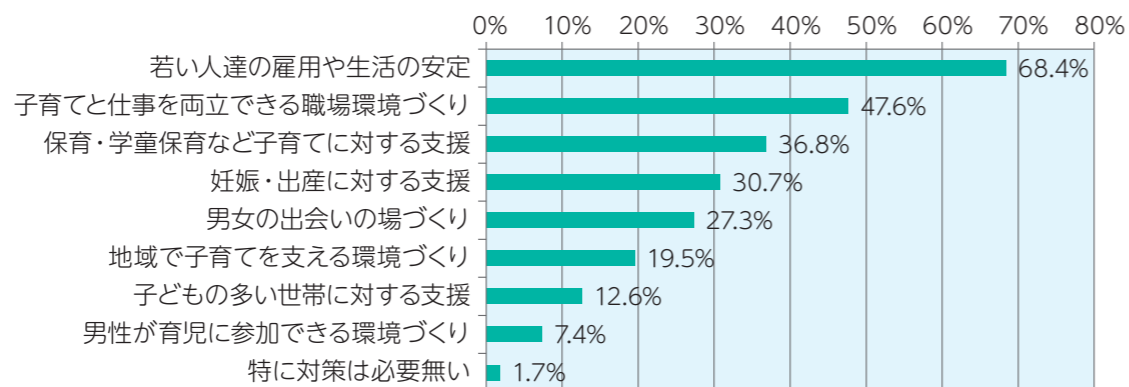
「雇用の場づくり」と回答した人が44.6%と、ほかの回答に比べ特に割合が高くなっています。

問3 少子化が人口減の要因の一つになっていますが、少子化が進む原因は何だと思いますか？（3つまで選択）



「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した人が53.7%と最も多く、次いで52.8%の人が「未婚化」、46.3%の人が「晩婚化」と回答しています。

問4 少子化に歯止めをかけるために必要な取り組みは何だと思いますか？（3つまで選択）

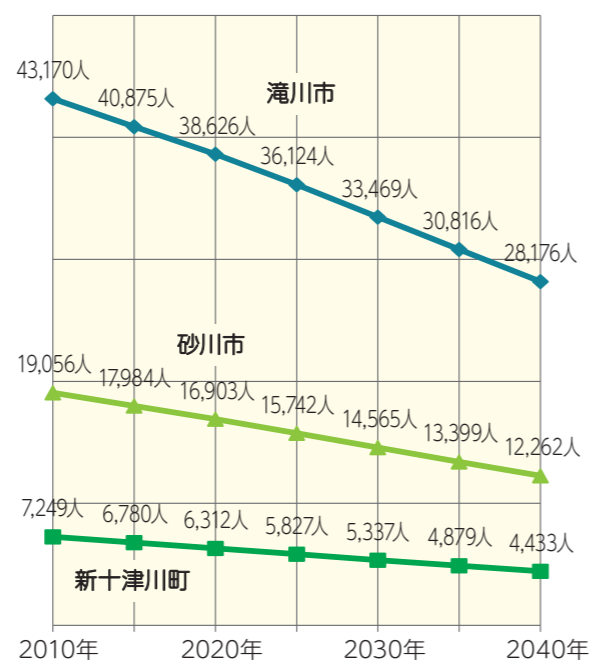


「若い人たちの雇用や生活の安定」と回答した人が68.4%と、ほかの回答に比べ特に割合が高くなっています。

新十津川町の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所）

国立社会保障・人口問題研究所によると、日本の人口は2008年の1億2,808万人をピークに2060年に8,700万人まで減少すると推計されています。

本町の人口も2040年で4,433人と近隣市も同様に約40%減少すると推計されています。



国の人口減少に歯止めをかけるとともに、大都市への一極集中を是正するため、昨年末に、まち・ひと・しごと創生法が公布されました。

本町は、総合計画に基づき、これまでさまざまな人口減少対策を行ってきましたが、この法律の施行を受け、より人口減少の抑制に特化した取り組みをまとめた計画「総合戦略」の策定に取り組んでいます。

本アンケート結果や地域懇談会などのご意見を聞きながら、皆さんと共に今後のまちづくりを考え、計画を策定していきます。